

牛群検定ビッグデータ（その30） ～分娩頭数の月別推移について～

牛群検定のビッグデータからわかるいろいろなことを本コーナーで紹介していきます。

図は、都府県と北海道について分娩月ごとの頭数を棒グラフに、当該月の搾乳牛頭数との割合（分娩頭数÷経産牛頭数）を折れ線グラフにしたものです。

都府県では、周期的に変動し、春分娩（3-5月）が少なくなります。これは、夏場における繁殖成績の低下が考えられます。

北海道は都府県ほど変動しませんが、分娩の多い月と少ない月では約6000頭ほど差があります。最近では4-5月の分娩が若干少なくなり夏の分娩が増える傾向となっています。

